

おわりに

ウニバト

本報告書は、研究プロジェクト「環境変動下における牧畜民の定住化」の下、個々の研究関心に沿って約2年間にわたる研究会、地図講習会、研究発表会、勉強会による研究活動の成果の一部である。研究対象はモンゴル高原である。

1年目に実施された星野仏方先生による講演ではモンゴル高原における環境問題と定住牧畜民の直面する諸問題について深い感銘を受けた。特にGPSをつけた家畜行動の観察によるモンゴルの遊牧システムと内モンゴル自治区の定住システムの比較研究、両システムの牧地環境へ作用についての研究は大変勉強になるものであった。

2年目は各メンバーがこれまでの研究成果を発表した。荻原真子先生はじめ、中尾正義先生、小長谷有紀先生、吉田睦先生、牛木久雄先生、藤田耕史先生たちよりコメントを寄せていただいた。

また、地図講習会で渡邊三津子先生より2回にわたってQGISによる画像の分析手法についてご指導いただいた。これにより衛星画像分析による科学データを利用した定量的な分析が可能になった。

諸先生方に心より感謝を申し上げたい。

なにより、2年間のプロジェクト活動を通じた若手研究者同士によるディスカッションは自らの研究を様々な視点から検討する機会となり、研究を進めるうえで大きなメリットをもたらしてくれた。

最後に、吉田睦先生と児玉香菜子先生にはいつも丁寧かつ熱心なご指導を頂き、院生一同の感謝の意をここに記しておきたい。